



帯広畜産大学 80 年の歩み

帯広畜産大学創立80周年記念誌 2021(令和3)年12月

1941 - 2021

目次

◎ 歴 代 学 長		1
◎ 創立 80 周年を迎えて	学長 奥田 潔	 2
◎ 創立 80 周年に寄せて	同窓会会長 西田 譲	 3
◎ 祝 詞	同窓会前会長 砂川 敏文	 4
◎ 退職教員からのメッセージ（宮原先生、小田先生、北村先生）		5
◎ 卒業生からのメッセージ （稲葉淳紀、橋本亜見、持塚瑠衣、山川恵美、大熊勲、阪本航大）		6
◎ 写真 本学全景		8
◎ 写真 10 年間の大学の歩み（平成 23 年～令和 3 年）		10
◎ 教職員数の推移		21
◎ 授業科目の変遷（平成 24 年以降）		21
◎ 学部・大学院等の変遷		22
◎ 帯広畜産大学沿革史年表（2011-2021）		23
◎ 在職教職員一覧（令和 3 年 8 月 1 日現在）		27
◎ 退職者等教職員一覧（令和 3 年 8 月 1 日現在）		31
◎ 学内施設の竣工年月日一覧		33
◎ 学生の課外活動団体活動状況		34
◎ 同窓会役員名簿		38
◎ 学内配置図		39
◎ 編集後記		40

歴代学長



初代

宮脇 富



2代

小華和 忠士



3代

田所 哲太郎



4代

山極 三郎



5代

大原 久友



6代

西川 義正



7代

鈴木 省三



8代

坂村 貞雄



9代

久保 嘉治



10代

佐々木 康之



11代

鈴木 直義



12代

長澤 秀行

名 称	氏 名	期 間
帯広高等獣医学校	宮脇 富	昭和16年4月1日～昭和19年3月31日
帯広獣医畜産専門学校	宮脇 富	昭和19年4月1日～昭和21年3月31日
帯広農業専門学校	宮脇 富	昭和21年4月1日～昭和26年3月31日
帯広畜産大学	宮脇 富	昭和24年5月31日～昭和28年8月31日
〃	小華和忠士	昭和28年9月1日～昭和32年8月31日
〃	大野 勝治	昭和32年9月1日～昭和33年1月9日 (事務取扱)
〃	田所哲太郎	昭和33年1月10日～昭和37年1月9日
〃	山極 三郎	昭和37年1月10日～昭和44年3月17日
〃	大原 久友	昭和44年3月18日～昭和45年2月28日 (事務取扱)
〃	大原 久友	昭和45年3月1日～昭和51年2月29日

名 称	氏 名	期 間
〃	西川 義正	昭和51年3月1日～昭和59年2月29日
〃	鈴木 省三	昭和59年3月1日～平成2年2月28日
〃	坂村 貞雄	平成2年3月1日～平成8年2月29日
〃	久保 嘉治	平成8年3月1日～平成12年2月29日
〃	佐々木康之	平成12年3月1日～平成13年12月31日
〃	鈴木 直義	平成14年1月1日～平成16年3月31日
国立大学法人帯広畜産大学	鈴木 直義	平成16年4月1日～平成19年12月31日
〃	長澤 秀行	平成20年1月1日～平成27年12月31日
〃	奥田 潔	平成28年1月1日～現在

創立 80 周年を迎えて

帯広畜産大学長

奥 田 潔



1941年に帯広高等獣医学校が創立されてから本年で創立80周年を迎えることができました。長きにわたり、本学の伝統と発展を支えてこられた諸先輩方をはじめ、地域の皆さま、関係者の皆さまのご助力ご支援に心から感謝申し上げます。

本学は創立以来、わが国唯一の国立農学系単科大学として、実学を基調とし、「獣医学」「畜産学」「農学」に関する教育研究を推進し、これまで約1万7000人の有為な人材を輩出して参りました。「日本の食料基地」十勝にキャンパスを構え、この強みと特徴を活かし、現在では『食を支え、暮らしを守る』人材の育成を通じて、地域及び国際社会に貢献する」ことを大学のミッションとして掲げています。

この80年を振り返ると、創立当初の苦労はもちろんですが、その後も時代の変化にともなう社会の要請や数々の課題に対応しながら、今日の本学があることがわかります。70周年（2011年）からの10年をとりましても、教育組織などに大きな変革がありました。2014年に北海道大学獣医学部との共同獣医学課程を設置し、両大学が共同で同一のカリキュラムに沿った教育を行い、卒業に際しては両大学の学長名で学位記を授与しております。2019年12月には欧州獣医学認証を得たことで、本学の獣医学教育が国際通用力を有することが証明されました。2018年には、獣医学専攻及び畜産科学専攻からなる大学院畜産学研究科を設置し、本学の大学院は獣医学・農学・畜産学の全分野で学部から博士課程までの一貫体制となりました。そして、2020年には別科草地畜産専修を、酪農に特化した実践的教育を行う教育課程に改組し、酪農専修として新たにスタートしました。

また、学内組織についても、グローバルアグロメディシン研究センター、大学情報分析室及び農学情報基盤センター（情報処理センターから改組）等を新たに設置し、研究の高度化、運営体制の強化に取り組んでいます。

さらに、本学は2022年4月に小樽商科大学、北見工業大学と法人統合し、一法人一大学であった、これまでの運営体制を抜本的に改革します。法人統合の背景には日本社会が抱える人口減少や高齢化、さらに地方の過疎化といった課題があります。なかでも、北海道は特に深刻な状況となっていることが挙げられます。これらの課題を克服するための人材育成とともに産学官連携による研究開発は急務であり、北海道地域の高等教育機関が果たすべき役割はこれまで以上に重要度を増しています。これらの課題解決に向け、法人統合するメリットを最大に活かし、教育面では商業・農業・工業のそれぞれの専門分野を活かした文理融合教育科目や教育プログラムを創設するなど、幅広い魅力ある連携教育の実現にむけて取り組んで参ります。

三大学が法人統合することによって連携教育面、経営面で大きな改革がなされますが、本学がこれまで培ってきた専門性や目指す方向性には変わりはなく、引き続きミッションである『食を支え、暮らしを守る人材育成』を通して、社会の発展に貢献していきます。

この創立80周年を、次に向けた飛躍の大きな節目ととらえ、更なるステージを目指したいと思います。引き続き、みなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

創立 80 周年に寄せて

帯広畜産大学同窓会 会長
草地学科 昭和 51 年卒業

西 田 譲



帯広畜産大学創立 80 周年おめでとうございます。同窓生を代表して心からお祝い申し上げますとともに、創立 80 周年記念誌に挨拶の機会をいただいたことを光栄に存じます。

母校畜大は、創立 70 周年から、この 10 年間においても、獣医・農畜産の全分野での学部から博士課程までの一貫教育体制の導入や、欧州獣医学教育国際認証を取得するなど、教育、研究、地域連携、国際社会貢献において素晴らしい成果を挙げられ、各方面から高い評価を得られています。また、附属図書館の改修や、酒蔵「碧雲蔵」の誘致など、学内の施設整備と環境整備もすすみ、キャンパスは見違えるような光景です。こうした大学の様々な取組みをはじめ、同窓生の皆さんが広く国内外で活躍されていることは、私たちにとって大きな誇りであり、喜びでもあります。

今年の 3 月、令和 2 年度学位記並びに修了証書授与式に出席いたしました。卒業される皆さんの達成感と希望に満ちた凛とした姿とともに、これまで出会った多くの人たちへの感謝の気持ちと、これからの人生の新しいステージに第一歩を踏み出す力強い決意を述べられた答辞に、さらには、「これからも畜大の教えである『フィールド（現場）に出て物を見る』を大切にしたい」との、地元紙に掲載された卒業生の声に、大変感動いたしました。我が国唯一の国立農学系単科大学としての「実学の学風」が、開学以来 80 年の間脈々と受け継が

れ、個性豊かな頼もしい人材が育っていることを強く感じます。

さて、同窓会としては、創立 80 周年を記念する事業は特に予定していませんが、コロナ禍が治まったときには、ホームカミングデーに合わせてクラス会を開催していただくなど、多くの同窓生の皆さんに再び大学に足を運んでいただきたいと思います。創立 70 周年の記念事業として建設した同窓会館「逍遙舎」にもお立ち寄りいただき、昔を思い出しながら、碧雲蔵のお酒を飲み、語り合っていただければ幸いです。

結びになりますが、来年の 2022 年 4 月には、帯広畜産大学、小樽商科大学、北見工業大学の三大学経営統合による新たな国立大学法人が創設されます。農学、商学、工学を専門とする三大学が強く結びつくことにより、母校がこれまでの輝かしい実績に加えて新たな魅力を創造し、国内外から意欲と情熱にあふれる多くの若者が集う「実学の知の拠点」として、益々発展されることを心から祈念して、お祝いの挨拶といたします。

祝 辞

帯広畜産大学同窓会 前会長
草地学科 昭和 45 年卒業

砂 川 敏 文



地方からの受験生を泊めてくれるという碧雲寮に着いてみると、玄関は半分雪の下。これはえらいところに来たというのが第一印象。昭和 41 年(1966 年)の早春のことです。この年は大雪で 4 月入学してからしばらく根雪が残っており、5 月になっても降雪があったと記憶しています。雪のほとんど降らない四国で生まれ育ったものにとっては珍しく、真っ白できれいだなと思ったことです。

当時、北海道は遠いところでした。飛行機は贅沢な乗り物で、もっぱら列車の旅。海を二つも超えて延々 30 数時間の大旅行。

四国の片田舎という事もあり、帯広市が北海道のどの辺にあるか知っている人は少ないどころか帯広という名前すら知らない人も多い。ましてそこに国立の畜産大学があることは、辛うじて進学指導の先生は知っていた程度(当たり前か！)。

入学してみると同期生や先輩方は、ほとんど日本の全県から少しずつあつまっている。

そして畜大にぜひ入りたいという思いでやってきた学生が多いと感じた。これは今も同じだと思います。多くのカルチャーショックを受けながら学生生活をスタートした 55 年前の新入生でした。

畜大は今年創立 80 年という事ですが、当時はまだ 25 年しか経っておらず、農産化学、農業工学、草地等の学科を始め機構の整備を進めていた時期かと思います。

就職してからは、同僚や仕事の関係先の人たちのほとんどが都会の有名な大きな大学の出でしたが、彼らの中に極たまに「すごいな、とてもじゃないけどかなわないな」と思う人がいましたが、

他の多くはそれほどでもなく、なんとか対等に付き合えることがわかりました。そういう中で、何かにつけて「私は帯広の畜産大学です。」と言って、帯広や畜産大学について話題にしたものです。

当時と比べて、近頃は情報化が進んで地元からの発信も多いからか、いろいろな地方にいて話をして「帯広、知っているよ。」「畜産大学はこんなこと頑張っているね。」などの反応が返ってくることも増えました。嬉しいことです。

畜大は小樽商大、北見工大と共に新しい運営法人のもとに結集して今後一層の発展を目指すと思っています。

大学間の連携はこれまでもあったと思いますが、同一組織の中でそれが一層広範で深化したのになり、大きくなる組織力を発揮して力強く展開することに繋がればと思います。

一方、組織全体としての意思決定のための内部調整に大きな精力が割かれるという大きな組織としての陥穽に陥ることなく、小柄ゆえに小回りが利き機動的に動けるという利点を失わず、山椒は小粒でもびりりと辛いという矜持を持ち続けられるような組織運営を期待しています。

帯広畜産大学が今後 100 年、150 年と歴史を刻みながら一層の発展を遂げ、全国の心ある若者がめざす大学であり続け、また関係した人たちの誇りであり続けることを期待し、一卒業生としての 80 周年のお祝いに代えます。

メッセージ 令和元年度退職教員



帯広畜産大学名誉教授
宮 原 和 郎

「私の畜大生活」

私は畜大には入学以来 2020 年に退職するまで 46 年の長きに渡ってお世話になり、先ずは感謝申し上げます。私の大学生生活を振り返れば、入学当初にはすでに世界で唯一の据置型大動物用 X 線透視装置が開発者の廣瀬恒夫先生、山田明夫先生、佐藤基佳先生によって稼働しており、大動物の X 線透視検査が研究、教育、診療の大半を占めた。据置型の装置は機動性に富む大動物用 X 線診療車となり、さらに産業動物用総合画像診断車となって私の退職まで巡回診療を続けることができた。また、動物医療センター専任教員となってからはセンターの新築や改修、共同獣医学課程の発足、国際認証など様々な変革に携わらせて頂いた。これからも様々な変革の波への対応が求められることと思うが、更なる発展をお祈りする。



帯広畜産大学名誉教授
小 田 有 二

「実用化をめざした研究、30 年」

私の最終講義、畜大で始めた微生物の産業利用に関する研究の中でご紹介させていただきましたが、結局のところ最終製品となったのは製パン用乾燥酵母「とちかち野」だけでした。

ここまでにとどり着いたのは、お二人（山内宏昭先生、元カネカ、日本甜菜製糖株式会社の田村雅彦さん）のおかげです。実は 30 年前、この 3 名は、ライバル企業でしのぎを削った仲だったのです。今回うまく進んだのは、人のつながりによることが大きいことは、お判りいただけたかと思います。畜大に勤務した 15 年間に教職員および関連機関の方々に大変お世話になりました。これらのみなさまにあらためてお礼申し上げますとともに、今後もつながりを大切にしたいと考えております。

小田有二名誉教授は令和 3 年 12 月 6 日にご逝去されました。
ここに謹んで哀悼の意を表します。



帯広畜産大学名誉教授
北 村 延 夫

「80 年、そして新様式」

80 周年おめでとうございます。前半の 40 年間と、自分が在籍した後半 40 年間は、それぞれの時代のそれぞれの大変さを乗り越えてきていると感じます。先達から聞くところでは、前半の大きなこととしてはやはり大戦や大学紛争でしょうか。後半は、大学の法人化と感染症対応が大きなことのように思います。大学と大学教育の大きな変容を迎えているようです。そしてなんといっても今後は少子化対応が最大の課題であり質的变化をもたらすことと思います。また、感染症もそして教育も研究も、ますます国境が無くなっていくのではないのでしょうか。幸いなのは、大きな変革を迫られるどの時期にも元気な「ちくだい生」がいることです。新旧の一長一短を選択融合させての新様式を達成して、ますますご発展されることを祈念しています。

メッセージ 卒業生



稲葉 淳 紀

畜産学部獣医学科
平成 24 年 卒

帯広畜産大学創立 80 周年を迎えられましたこと心よりお祝い申し上げます。

卒業後は勤務医を経て小動物診療施設を開院し、一般診療の傍ら犬猫の殺処分を減らす目的で不妊手術や里親譲渡のための医療処置に協力しています。

大学で過ごした 6 年間では獣医師としての仕事の小動物診療以外にも様々な分野があることを学び、卒業後各方面で活躍する友人達からも刺激を受けています。

小動物の道に進むことになりましたが、広い視野を持ち社会問題を考え、社会に貢献できるよう努めていきたいと考えています。これからも畜大生が世界中で活躍する声を数多く聞けることを期待しています。



橋 本 亜 見

資源環境農学専攻
令和元年 修了

創立 80 周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

在学中は農業経済学ユニットと国際協力ユニットに所属し、農畜産のプロセスを社会科学的に捉えることを学びつつ、JICA 草の根技術協力事業のマラウイ現地調査等を経て、食に関する分野で国際社会に貢献する夢を持ちました。

卒業後、畜大と JICA の連携事業であるパラグアイの酪農振興に青年海外協力隊として約 2 年間従事。事業立ち上げの苦労や人々との交流は貴重な経験となりました。その後、乳業メーカーに勤務しながら、畜大の修士課程修了も叶いました。畜大と出会えたから歩めた道であり、感謝は尽きません。

今後も畜大と出会う学生が国内外で活躍し続けることを心より願っています。



持 塚 瑠 衣

畜産生命科学ユニット
平成 23 年 卒

創立 80 周年、誠におめでとうございます。

大学入学当初、地元静岡を離れ、異国を訪れるような気持ちで初めて十勝の大地を踏みしめてから早 14 年の月日が経ちました。大学時代は専らサークル活動に明け暮れ、毎日マンドリンを弾き鳴らし、勤勉とは程遠い学生ではございましたが、大切な仲間と沢山の思い出を得ることができ、濃密でかけがえの無い時間を過ごさせて頂きました。

卒業後、十勝を拠点に畜産業を営む株式会社ノベルズに就職し、現在は人事を担当しております。私生活では 2 児の母となり、忙しくも充実した毎日を送っております。

十勝、北海道のみならず、日本全国の畜産業を支える人材を輩出し続ける“畜大”の更なるご発展を心より祈念致します。



山 川 恵 美

食品科学専攻
平成 24 年 修了

創立 80 周年、誠におめでとうございます。

私は畜肉保蔵学研究室と国際協力ユニットに所属し、食肉科学や国際貢献について学びました。卒業後はイタリアの肉製品工房で2年間研修して現地の技術を学び、又、イタリアソムリエ協会認定ソムリエの資格を得る事ができました。

現在は両親が営んでいた養豚業を兄と共に継いでいます。自給飼料としての飼料米生産、豚の飼育、加工販売までを一貫して行っており、畜産科のスローガンである「農場から食卓まで」を小規模ながら実現できています。

私の基盤を築いてくれた帯広畜産大学と諸先生方の熱心な御指導、そして苦楽を共にした友人達に心より感謝しています。未来の食を担う次世代の人材育成の場として、帯広畜産大学の益々の御発展を心より御祈念申し上げます。



大 熊 勲

岩手大学大学院連合農学研究科
平成 31 年 修了

創立 80 周年おめでとうございます。

僕は羊飼いになって山で浮世離れた生活をするために畜大に入学した変な学生でした。ところが、気がつけば野生動物の研究室で学位をいただき、いまでは帯広市緑ヶ丘公園で公園管理官の職につき、むしろ積極的に人と関わる仕事をしています。畜大とはおかしなところでは。

きっと在学中に、糞まみれの牛のしっぽで顔面を叩かれたり、同級生と汗をかくて畑を起こしたり、育てた豚を殺して食べたりしているうちに「生きるというリアル」を体に刻みつけられたんだと思います。自分をごまかすことの虚しさ。ヒトの個体群の中で生きることへの諦観。つくづく変なことを教えてくれる大学です。

畜大からいただいた祈りを返すときが来ました。どうか末永く、あがいて、生きていきますように。



阪 本 航 大

別科
平成 26 年 卒

この度は帯広畜産大学となって 80 周年の節目を迎えるとのことで大変おめでとうございます。

学生時代を振り返ってみると、恵まれた環境の中で学業はもちろん、部活動に農業地帯ならではの様々な農作業バイトを経験できてとても充実した時間を過ごさせていただきました。

私は今現在、実家の北海道上川町で和牛の繁殖と大根の生産を行っております。日々の農作業の中でも学生時代に学んだことが活かされております。また、社会に出て改めて気付かされましたが、農業には様々な組織が関わっております。学生のうちから機会を見つけて、より多く人と交流しておけばと思うこともありました。

現在コロナウイルスによって、制限されている活動もあると思いますが学生をはじめ関係者の皆さまにおかれましても、健康に留意し、充実した活動が送れるように願っております。

この度は大変おめでとうございます。

本学全景

航空写真（昭和 40 年代）



航空写真（平成 13 年 10 月）



航空写真（平成23年7月）



航空写真（令和3年9月）



10 年間の大学の歩み 平成 23 年～令和 3 年



平成 23 年 4 月
家畜防疫研究室を設置



平成 23 年 10 月
共同獣医学課程協定書調印



平成 23 年 10 月
追遥舎完成（外観）



平成 23 年度
南米パラグアイで JICA 草の根技術協力事業を開始



平成 23 年 11 月
学生による東日本大震災支援



平成 23 年 12 月
第 1 回畜大ふれあいフェスティバル



平成 24 年 3 月
(一般財団法人) 帯広市スポーツ振興財団と連携協定締結



平成 24 年 4 月
バレイショ遺伝資源開発学講座開設



平成 24 年 6 月
口蹄疫を想定した実習を実施



平成 25 年 4 月
おびひろ動物園
「帯広畜産大学サテライト」開設



平成 25 年 5 月
HACCP 準拠の食品加工実習施設完成



平成 25 年 9 月
北海道立総合研究機構と連携・協力に関する協定締結



平成 25 年 8 月
帯広 - JICA 協力隊連携事業でパラグアイに学生を派遣



平成 25 年 9 月
第 1 回 馬フォーラム開催



平成 25 年 12 月
米国コーネル大学と学術交流協定締結



平成 26 年 3 月
第 1 回「帯広・十勝に花は咲く」
東日本大震災チャリティーコンサート開催



平成 26 年 3 月
乳製品工場が FSSC22000 認証取得



平成 26 年 4 月
動物・食品検査診断センター改修



平成 26 年 6 月
寮祭



平成 26 年
「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」に多数の学生が採用



平成 26 年 馬介在活動室設置
平成 26 年 8 月 第 2 回 馬フォーラム開催



平成 26 年 9 月
米国ウィスコンシン大学と学術交流協定締結



平成 26 年 10 月
学校祭



平成 27 年 3 月
第 2 回「帯広・十勝に花は咲く」
東日本大震災チャリティーコンサート開催



平成 27 年 10 月
ポテト工房で食品科学ユニット 3 年次
バレイショ加工実習



平成 27 年 11 月
米国コーネル大学と獣医学分野の
機能強化覚書締結



平成 28 年 8 月
「十勝ジンギスカン会議」開催



平成 28 年 10 月
第 3 回 馬フォーラム開催



平成 28 年 10 月
産業動物臨床施設群完成



平成 28 年 12 月
パラグアイオフィス設置



平成 29 年 4 月
リベラルアーツ講演会 (小林 誠 先生)



平成 29 年 12 月
日本ハム (株) との包括連携協定締結



平成 30 年 5 月
三大学経営改革に関する合意書締結



平成 30 年 6 月
リベラルアーツ講演会 (鈴木 章 先生)



平成 30 年 8 月
オープンキャンパス



平成 30 年 8 月
米国ウィスコンシン大学マディソン校との合同サマープログラム開催



平成 30 年 12 月
馬介在活動室の取り組みが
平成 30 年度 文部科学大臣表彰 受賞



平成 31 年 4 月
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構と
連携協定締結



令和元年 5 月
学生サークル「BEEHAVE」のはちみつプロジェクトが活動本格化



令和元年 7 月
酒蔵の誘致



令和元年 7 月
共同研究講座第 1 号
敷島製パン(株)と「Pasco 未来パン共同研究講座」設置



令和元年 7 月
附属図書館リニューアルオープン



令和元年 7 月
リベラルアーツ講演会（天野 浩 先生）



令和元年 9 月
クラウドファンディング企画募集開始（だちょうサークル）



令和元年 10 月
ホームカミングデー



令和元年 12 月
アジア初の欧州獣医学教育認証取得



令和 2 年 2 月
(株)ロジネットジャパンと連携・協力に関する協定締結



令和 2 年 3 月
(有) 社台コーポレーション
社台ホースクリニックと連携協定締結



令和 2 年 5 月
コロナ禍におけるオンライン授業



令和 2 年 5 月
コロナ禍における遠隔授業のための撮影



令和 2 年 5 月
大学構内に上川大雪酒造 (株) の酒蔵完成



令和 2 年 10 月
NTT 東日本と連携協定を締結



令和 2 年 10 月
帯広商工会議所と連携・協力に関する協定締結



令和 3 年 5 月
碧雲蔵で学生による酒造りプロジェクト開始



令和 3 年 6 月
リベラルアーツ講演会（梶田 隆章 先生）



令和 3 年 9 月
学生による日本酒造りプロジェクト 畜大オリジナル日本酒完成

教職員数の推移

5月1日時点

年度	学長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	その他の職員	合計
平成 23 年	1	2 (1)	(2)	54	42	5	24	94	220 (3)
24	1	2 (1)	(2)	59	35	8	20	96	219 (3)
25	1	2 (1)	(2)	54	36	10	27	95	223 (3)
26	1	2 (1)	(2)	62	35	10	28	96	232 (3)
27	1	2 (1)	(2)	65	34	9	26	92	227 (3)
28	1	2 (1)	(2)	63	34	9	25	93	225 (3)
29	1	2 (1)	(2)	58	39	9	27	94	228 (3)
30	1	2 (1)	(2)	61	34	8	26	90	220 (3)
令和 元年	1	2 (1)	(2)	56	37	8	28	92	222 (3)
2 年	1	2 (1)	(2)	52	39	9	27	88	218 (3)
3	1	2 (1)	(2)	50	43	9	31	89	225 (3)

() は外数で非常勤
再雇用教職員も含む

授業科目の変遷 (平成 24 年以降)



こちらの QR コードからご覧ください。

<https://www.obihiro.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2021/10/zyugyouH24-.pdf>

学部・大学院等の変遷

帯広高等獣医学校（創立）	昭和 16 年	4 月 1 日	
獣医科	昭和 16 年	4 月 1 日	— 昭和 19 年 4 月 10 日
帯広獣医畜産専門学校（改称）	昭和 19 年	4 月 1 日	
獣医畜産科	昭和 19 年	4 月 11 日	— 昭和 21 年 3 月 31 日
帯広農業専門学校（改称）	昭和 21 年	4 月 1 日	
獣医畜産科	昭和 21 年	4 月 1 日	— 昭和 24 年 5 月 30 日
酪農科	昭和 21 年	4 月 1 日	— 昭和 24 年 5 月 30 日
農芸化学科	昭和 21 年	4 月 1 日	— 昭和 24 年 5 月 30 日
農学科	昭和 22 年	4 月 1 日	— 昭和 24 年 5 月 30 日
帯広畜産大学（設置）	昭和 24 年	5 月 31 日	
一般教育課程	昭和 24 年	4 月 1 日	— 昭和 43 年 3 月 31 日
教養課程（改称）	昭和 43 年	4 月 1 日	— 平成 9 年 3 月 31 日
共通講座（改称）	平成 9 年	4 月 1 日	— 平成 14 年 3 月 31 日
獣医学科	昭和 24 年	5 月 31 日	— 平成 20 年 3 月 31 日
酪農学科	昭和 24 年	5 月 31 日	— 昭和 53 年 3 月 31 日
家畜生産科学科（改組）	昭和 53 年	4 月 1 日	— 平成 2 年 3 月 31 日
総合農学科	昭和 28 年	4 月 1 日	— 昭和 41 年 3 月 31 日
農産化学科	昭和 36 年	4 月 1 日	— 平成 2 年 3 月 31 日
農業工学科	昭和 38 年	4 月 1 日	— 平成 2 年 3 月 31 日
草地球科	昭和 39 年	4 月 1 日	— 平成 2 年 3 月 31 日
畜産経営学科	昭和 47 年	4 月 1 日	— 平成 2 年 3 月 31 日
畜産環境学科	昭和 49 年	4 月 1 日	— 平成 2 年 3 月 31 日
畜産管理学科（改組）	平成 2 年	4 月 1 日	— 平成 14 年 3 月 31 日
畜産環境科学科（改組）	平成 2 年	4 月 1 日	— 平成 14 年 3 月 31 日
生物資源化学科（改組）	平成 2 年	4 月 1 日	— 平成 9 年 3 月 31 日
生物資源科学科（改組）	平成 9 年	4 月 1 日	— 平成 14 年 3 月 31 日
畜産科学科（改組）	平成 14 年	4 月 1 日	— 平成 20 年 3 月 31 日
獣医学課程（改組）	平成 20 年	4 月 1 日	— 平成 24 年 3 月 31 日
畜産科学課程（改組）	平成 20 年	4 月 1 日	—
別科（草地畜産専修）	昭和 35 年	4 月 1 日	— 令和 2 年 3 月 31 日
別科（酪農専修）（改組）	令和 2 年	4 月 1 日	—
帯広畜産大学畜産学部・北海道大学獣医学部共同獣医学課程（設置）	平成 24 年	4 月 1 日	—
畜産学専攻科（設置）	昭和 32 年	4 月 1 日	— 昭和 44 年 3 月 31 日
獣医学専攻	昭和 32 年	4 月 1 日	— 昭和 42 年 5 月 31 日
酪農学専攻	昭和 32 年	4 月 1 日	— 昭和 42 年 5 月 31 日
農産化学専攻	昭和 40 年	4 月 1 日	— 昭和 42 年 5 月 31 日
農業工学専攻	昭和 42 年	4 月 1 日	— 昭和 44 年 3 月 31 日
草地球専攻	昭和 43 年	4 月 1 日	— 昭和 44 年 3 月 31 日
大学院畜産学研究科（修士課程）（設置）	昭和 42 年	6 月 1 日	
獣医学専攻	昭和 42 年	6 月 1 日	— 平成 2 年 3 月 31 日
酪農学専攻	昭和 42 年	6 月 1 日	— 昭和 57 年 3 月 31 日
家畜生産科学専攻（改組）	昭和 57 年	4 月 1 日	— 平成 6 年 3 月 31 日
農産化学専攻	昭和 42 年	6 月 1 日	— 平成 6 年 3 月 31 日
農業工学専攻	昭和 44 年	4 月 1 日	— 平成 6 年 3 月 31 日
草地球専攻	昭和 44 年	4 月 1 日	— 平成 6 年 3 月 31 日
畜産経営学専攻	昭和 51 年	4 月 1 日	— 平成 6 年 3 月 31 日
畜産環境学専攻	昭和 53 年	4 月 1 日	— 平成 6 年 3 月 31 日
畜産管理学専攻（改組）	平成 6 年	4 月 1 日	— 平成 22 年 3 月 31 日
畜産環境科学専攻（改組）	平成 6 年	4 月 1 日	— 平成 22 年 3 月 31 日
生物資源化学専攻（改組）	平成 6 年	4 月 1 日	— 平成 13 年 3 月 31 日
生物資源科学専攻（改組）	平成 13 年	4 月 1 日	— 平成 22 年 3 月 31 日
畜産衛生学専攻（独立専攻）	平成 16 年	4 月 1 日	— 平成 30 年 3 月 31 日
畜産生命科学専攻（改組）	平成 22 年	4 月 1 日	— 平成 30 年 3 月 31 日
食品科学専攻（改組）	平成 22 年	4 月 1 日	— 平成 30 年 3 月 31 日
資源環境農学専攻（改組）	平成 22 年	4 月 1 日	— 平成 30 年 3 月 31 日
大学院畜産学研究科（博士前期課程）（設置）	平成 30 年	4 月 1 日	
畜産科学専攻	平成 30 年	4 月 1 日	—
岐阜大学大学院連合獣医学研究科（博士課程）（参加）	平成 2 年	4 月 1 日	— 平成 30 年 3 月 31 日
岩手大学大学院連合農学研究科（博士課程）（参加）	平成 6 年	4 月 1 日	— 平成 30 年 3 月 31 日
大学院畜産学研究科（博士課程）（設置）	平成 18 年	4 月 1 日	
畜産衛生学専攻	平成 18 年	4 月 1 日	— 平成 30 年 3 月 31 日
獣医学専攻	平成 30 年	4 月 1 日	—
大学院畜産学研究科（博士後期課程）（設置）	平成 30 年	4 月 1 日	
畜産科学専攻	平成 30 年	4 月 1 日	—

帯広畜産大学沿革史年表

2011 (平成 23) ～ 2021 (令和 3)

沿革史	学内・学外のあゆみ	国内・国外のあゆみ
○2011 (平成 23 年) ・長澤秀行学長が再任 (平成 25 年 12 月 31 日まで) ・第 59 回学部学位記, 第 50 回別科修了証書, 第 43 回大学院学位記授与式挙行, 獣医学科 39 名, 畜産科学科 196 名, 畜産学部計 235 名, 別科 13 名, 大学院 48 名, 計 296 名 (3.18) ・旧女子寮 (萌宥寮) を改修し, 国際交流会館Ⅱに再生整備工事竣工 (3.30) ・畜産フィールド科学センターに家畜防疫研究室を設置 (4.1) ・平成 23 年度入学式挙行, 畜産学部 (第 63 回), 獣医学課程 42 名, (学士編入学) 1 名, 畜産科学課程 216 名, (3 年次編入) 11 名, 畜産学部計 270 名, 別科 (第 52 回) 22 名, 大学院 (第 45 回) 56 名, 計 348 名 (4.8) ・帯広畜産大学創立 70 周年記念講演会 (福島県飯館村長・菅野典雄, 旭山動物園長・坂東元) 開催 (10.6・7) ・帯広畜産大学創立 70 周年記念式典挙行, 式典終了後祝賀会開催 (10.8) ・帯広畜産大学同窓会からの寄附により「逍遙舎」新設・竣工 (10.11)	・東北地方太平洋沖地震を受け, NPO 法人コミュニティシンクタンクあうるずと連携し, 教職員と学生 200 人以上が独自に支援物資 (食品 68 箱, 生活用品 50 箱, 防寒着 8 箱, 毛布 100 枚等) を集め, 岩手県岩泉町へ発送するなど, 種々の支援活動を行った。 (3.18 以降) ・大学機関別認証評価を受審し, 「大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」との評価 (3.25) ・藤野安彦名誉教授逝去, 正四位に叙せらる (7.5) ・かしわプラザを含む大学キャンパスが第 7 回帯広市まちづくりデザイン賞『まち創り部門』を受賞 (10.27) ・北海道大学と「共同獣医学課程」協定書を締結 (10.8) ・伏見茂名誉教授, 瑞宝中綬章を受章 (11.3) ・第 1 回畜大ふれあいフェスティバルを開催 (12.3) ・フィリピン共和国デ・ラ・サルアラネタ大学との学術交流協定を締結 (12.19)	・東北地方太平洋沖地震 (マグニチュード 9.0, 国内観測史上最大の巨大地震) が発生。高さ 10m 以上の大津波が岩手県・宮城県を中心とする東日本太平洋沿岸に甚大な被害をもたらした。死者及び届出があった行方不明者の数は合わせて 2 万人を超え, 阪神・淡路大震災を大きく上回る戦後最悪の自然災害となった (3.11) ・国際テロ組織アル・カーイダの最高指導者ウサマ・ビンラディン容疑者が, アメリカ合衆国の諜報機関により, パキスタン国内で銃撃戦の末に殺害 (5.2) ・小笠原諸島がユネスコ世界自然遺産の登録物件となる (6.24) ・女子サッカー W 杯でなでしこジャパンが優勝 (7.18) ・地上アナログテレビ放送終了 (7.24) ・野田佳彦第 95 代内閣総理大臣誕生 (8.30)
○2012 (平成 24 年) ・第 60 回学部学位記, 第 51 回別科修了証書, 第 44 回大学院学位記授与式挙行, 獣医学科 45 名, 畜産科学科 16 名, 畜産科学課程 185 名, 畜産学部計 246 名, 別科 19 名, 大学院 57 名, 計 322 名 (3.19) ・平成 24 年度入学式挙行, 畜産学部 (第 64 回), 共同獣医学課程 40 名, (学士編入学) 0 名, 畜産科学課程 222 名, (3 年次編入) 4 名, 畜産学部計 266 名, 別科 (第 53 回) 16 名, 大学院 (第 46 回) 51 名, 計 333 名 (4.10) ・獣医学教育国際認証推進室設置 (10.17) ・寄附講座「生命平衡科学講座 (白寿)」開設 (11.7) ・別科センターを改修し, 敷島製パン (株) との連携による製パン実験施設 (とかち夢パン工房) に再生整備工事竣工 (11.30)	・財団法人帯広市文化スポーツ振興財団と協定を締結 (3.30) ・畜大牛乳製造開始から 50 年 (4.1) ・敷島製パン (株) と包括連携協定を締結 (4.20) ・光本孝次名誉教授, 瑞宝中綬章を受章 (4.29) ・高畑英彦名誉教授逝去, 正四位瑞宝中綬章に叙せらる (8.11) ・田島重雄名誉教授逝去, 正四位に叙せらる (9.30) ・カルビー (株) と包括連携協定を締結 (10.2) ・ゼニガタアザラシ研究グループが創立 30 周年記念シンポジウムを開催 (10.20) ・本学学生サークル「あぐりととかち」が第 8 回帯広市まちづくりデザイン賞『まち育て部門』を受賞 (10.29) ・タイ王国チェンマイ大学と大学間学術交流協定を締結 (12.19)	・東京スカイツリーが開業 (5.22) ・英エリザベス女王の即位 60 年で祝賀行事 (6.2) ・ロンドン五輪で日本最多メダル (7.27 ～ 8.12) ・消費増税法案が成立 (8.10) ・国内全原発停止 (8.15) ・竹島問題めぐり日韓関係悪化 (8.) ・尖閣問題めぐり中国で反日デモ (9.) ・衆議院解散、総選挙 (11.16、12.16) ・山中伸弥京都大学教授がノーベル医学・生理学賞受賞 (12.10) ・安倍晋三第 96 代内閣総理大臣誕生 (12.26)
○2013 (平成 25 年) ・長澤秀行学長が再任 (平成 27 年 12 月 31 日まで) ・北海道大学・帯広畜産大学共同獣医学課程開講記念式典挙行 (1.23) ・肉畜処理施設を改修し, 食品加工実習施設に再生整備工事竣工 (2.19) ・第 61 回学部学位記, 第 52 回別科修了証書, 第 45 回大学院学位記授与式挙行, 獣医学科 34 名, 畜産科学課程 184 名, 畜産学部計 218 名, 別科 18 名, 大学院 46 名, 計 282 名 (3.19) ・寄附講座「バレイショ遺伝資源開発学講座」開設 (4.1) ・平成 25 年度入学式挙行, 畜産学部 (第 65 回), 共同獣医学課程 41 名, (学士編入学) 1 名, 畜産科学課程 214 名, (3 年次編入) 8 名, 畜産学部計 264 名, 別科 (第 54 回) 17 名, 大学院 (第 47 回) 56 名, 計 337 名 (4.10) ・カルビー (株) 元相談役松尾雅彦氏からの寄附により松尾記念温室棟新設・竣工・贈呈式挙行 (10.22)	・越井和男元車庫長, 瑞宝単光章を受章 (4.29) ・森下盈名誉教授逝去 (5.10) ・2020 年東京オリンピック・パラリンピック招致活動における連携協定を締結 (5.17) ・菅原四郎名誉教授逝去, 正四位に叙せらる (6.7) ・おびひろ動物園大学 OZU によるおびひろ動物園 50 周年記念シンポジウムの開催 (7.14) ・ちくだい馬フォーラムを初開催 (9.15) ・地方独立行政法人北海道立総合研究機構との連携・協力に関する協定を締結 (9.26) ・米国コーネル大学と学術交流協定を締結 (12.2) ・畜大牛乳アイスクリームを発売 (12.20)	・富士山 (三保の松原を含む) がユネスコ世界文化遺産の登録物件となる (6.22) ・東京が IOC 総会で 2020 年夏季五輪大会開催地に決定 (9.7) ・ユネスコ政府間委員会で「和食日本人の伝統的な食文化」が無形文化遺産登録される (12.4)

沿 革 史	学内・学外のあゆみ	国内・国外のあゆみ
○2014 (平成26年) - 第62回学部学位記, 第53回別科修了証書, 第46回大学院学位記授与式举行, 獣医学科2名, 獣医学課程34名, 畜産科学学科1名, 畜産科学課程187名, 畜産学部計224名, 別科12名, 大学院42名, 計278名 (3.20) - 動物・食品衛生研究センター改修, 病態診断棟新設, 解剖教育研究棟改修 (3.24) - 動物・食品衛生研究センターを動物・食品検査診断センターに改組 (4.1) - 平成26年度入学式举行, 畜産学部 (第66回), 共同獣医学課程42名, (学士編入学) 1名, 畜産科学課程212名, (3年次編入) 10名, 畜産学部計265名, 別科 (第55回) 21名, 大学院 (第48回) 57名, 計343名 (4.10) - 農産加工実験棟に「ポテト工房」(パレイショ加工実験施設)の看板を上掲 (11.7)	- 道内国立6大学との教養教育単位互換及び入学前留学生教育の実施に関する協定を締結 (2.28) - 第1回「帯広・十勝に花は咲く」東日本大震災チャリティコンサートを開催 (3.21) - 畜産フィールド科学センター乳製品工場がFSSC22000認証を取得 (3.27) - 米国ウィスコンシン大学と学術交流協定を締結 (9.25) - かしわプラザ内にカフェ "FarmDesigns 帯広畜産大学店" がオープン (9.29) - 長澤学長が「JICA 理事長表彰」を受賞 (10.21) - 品川森一名誉教授, 瑞宝中綬章を受章 (11.3)	- 冬季五輪・ソチ大会開幕 (日本獲得メダルは金1, 銀4, 銅3) (2.7) - 消費税率8%へ引き上げ (4.1) - ユネスコ世界遺産委員会で「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界文化遺産登録決定 (6.21) - Nature 誌, STAP細胞に関する論文2本を撤回 (7.2) - ユネスコが「和紙: 日本の手漉和紙技術」を無形文化遺産に登録決定 (11.27) - 赤崎勇名城大学教授, 天野浩名古屋大学教授, 中村修二カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授がノーベル物理学賞受賞 (12.10)
○2015 (平成27年) - 第63回学部学位記, 第54回別科修了証書, 第47回大学院学位記授与式举行, 獣医学科2名, 獣医学課程44名, 畜産科学学科1名, 畜産科学課程208名, 畜産学部計255名, 別科15名, 大学院44名, 計314名 (3.20) - 大学情報分析室設置 (4.1) - グローバルアグロメディシン研究センター (GAMRC) 設置 (4.1) - 平成27年度入学式举行, 畜産学部 (第67回), 共同獣医学課程40名, 畜産科学課程215名, (3年次編入) 10名, 畜産学部計265名, 別科 (第56回) 17名, 大学院 (第49回) 60名, 計342名 (4.10) - 産業動物臨床施設竣工記念式典举行 (10.23) - 講堂改修工事竣工 (12.10)	- 三好俊三名誉教授逝去, 従四位瑞宝小綬章に叙せらる (2.4) 「十勝カレッジ SILO」事業を開始 (4.13) - 福永和男名誉教授, 瑞宝中綬章を受章 (4.29) - 山下忠幸名誉教授逝去, 従四位瑞宝小綬章に叙せらる (7.5) - 第1回ジンギスカン会議を開催 (8.12) - 農林水産省主催の「食と農林漁業大学生アワード2015」で, 帯広畜産大学農業サークル「あぐりとたち」が, 道内大学では初めてとなる農林水産大臣賞を受賞 (11.8)	- 北陸新幹線が金沢まで延伸開業 (3.14) - 選挙権年齢を18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が成立 (6.17) - ユネスコが「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」を世界文化遺産に登録決定 (7.5) - 又吉直樹 小説「火花」でお笑い芸人として初めて芥川賞受賞 (7.16) - マイナナンバー法施行 (10.5) - 大村智北里大特別名誉教授がノーベル医学・生理学賞に, 梶田隆章東大宇宙船研究所所長がノーベル物理学賞を受賞 (12.10)
○2016 (平成28年) - 奥田潔氏が第13代学長に就任 (平成32年3月31日まで) - 第64回学部学位記, 第55回別科修了証書, 第48回大学院学位記授与式举行, 獣医学科1名, 獣医学課程37名, 畜産科学課程205名, 畜産学部計243名, 別科19名, 大学院51名, 計313名 (3.18) - 平成28年度入学式举行, 畜産学部 (第68回), 共同獣医学課程40名, 畜産科学課程222名, (3年次編入) 10名, 畜産学部計272名, 別科 (第57回) 15名, 大学院 (第50回) 56名, 計343名 (4.8) - 宿泊研修棟「アッカムイ」新設・竣工 (8.31) - 共用機器基盤センター設置 (11.16)	- 公益社団法人青年海外協力協会(JOCA)と連携協力協定を締結 (3.24) - 菊池誠元事務局長, 瑞宝小授章を受章 (4.29) - 株式会社十勝毎日新聞社と包括連携協定を締結 (8.10) - 美濃羊輔名誉教授, 瑞宝中綬章を受章 (11.3) - 帯広畜産大学パラグアイオフィスを設置 (12.7) - 畜産フィールド科学センター搾乳施設及び屠畜・解体施設が食品安全マネジメントシステム ISO22000:2005の認証を取得 (12.20)	- 北海道新幹線開業 (3.26) - 熊本県で大地震相次ぎ発生 (4.14) - 第42回先進国首脳会議 (G7サミット) が三重県伊勢志摩で開催される (5.26) - 女性初の東京都知事小池百合子氏, 都庁初登庁 (8.2) - リオ五輪体操競技男子団体総合決勝が行われ, 日本は2004年アテネ五輪以来3大会ぶりの金メダルを獲得 (8.9) - プロ野球広島東洋カープが25年ぶり7度目のリーグ優勝 (9.10) - プロ野球北海道日本ハムファイターズが10年ぶり3度目の日本シリーズ優勝, 栗山監督下では初となる日本一に (10.29) 113番元素「ニホニウム」(元素記号Nh) 日本が初めて命名 (11.30) - 大隅良典東京工業大学名誉教授がノーベル医学・生理学賞を受賞 (12.10)
○2017 (平成29年) - 第65回学部学位記, 第56回別科修了証書, 第49回大学院学位記授与式举行, 獣医学課程42名, 畜産科学課程204名, 畜産学部計246名, 別科15名, 大学院52名, 計313名 (3.17) - 研究域を7部門16分野から4部門10分野に再編 - 事務組織の部制を廃止, 再編	- 動物・食品検査診断センターと原虫病研究センターの2施設において, 試験所能力を国際的に証明するISO/IEC17025:2005の認定を国内の大学として初めて食品・生物系分野で取得 (3.3) - 公募作品から選定し, かしわの葉をモチーフにしたロゴマークを制定 (3.9) - 第1回リベラルアーツ講演会を開催 (4.10) - 久保嘉治元学長逝去, 正四位に叙せらる (7.11)	- 毎月末金曜日の午後3時終業を奨励する「プレミアムフライデー」が初実施される (2.24) - NASA 土星探査機「カッシーニ」が土星の輪をくぐり, 大気の画像撮影に成功 (4.27) - 史上最年少でプロ棋士となった藤井聡太四段デビュー戦からの公式戦新記録の29連勝達成 (6.26) - ユネスコが「[神宿る鳥] 宗像・沖ノ島と関連遺産群」を世界文化遺産に登録決定 (7.9)

沿 革 史	学内・学外のあゆみ	国内・国外のあゆみ
・平成 29 年度入学式挙行，畜産学部（第 69 回），共同獣医学課程 40 名，畜産科学課程 212 名，（3 年次編入）7 名，畜産学部計 259 名，別科（第 58 回）17 名，大学院（第 51 回）54 名，計 330 名（4.10）	・ちくだいらんぶ事業「キックオフミーティング」を開催（7.21） ・後藤健名誉教授逝去（9.15） ・加藤健太郎准教授が「2017-2018 年度日本獣医学会賞」を受賞（9.15） ・ポーランド科学技術アカデミー及びヴァルミア・マズーリー大学と学術交流協定を締結（9.25） ・同窓会共催「ちくだいホームカミングデー 2017」を初めて開催 ・日本ハム株式会社と包括連携協定を締結（12.5）	・日本学生陸上競技対校選手権大会男子 100 メートルで東洋大学桐生祥秀選手が日本選手初の 9 秒 98 を記録（9.9） ・五輪開催都市、史上初の 2 都市同時発表。2024 年はパリ、2028 年はロサンゼルスに（9.13） ・米国ドナルド・トランプ大統領就任後初来日（11.5）
○2018（平成30年） ・第 66 回学部学位記，第 57 回別科修了証書，第 50 回大学院学位記授与式挙行，共同獣医学課程 29 名，獣医学科 1 名，獣医学課程 2 名，畜産科学課程 206 名，畜産学部計 238 名，別科 15 名，大学院 53 名，計 306 名（3.20） ・大学院畜産学研究科の畜産生命科学専攻，食品科学専攻，資源環境農学専攻（いずれも修士課程）及び畜産衛生学 専攻（博士前期課程・博士後期課程）を廃止し，畜産科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）及び獣医学専攻（博士課程）を設置（4.1） ・岩手大学大学院連合農学研究科博士課程の構成大学から離脱（4.1） ・岐阜大学大学院連合獣医学研究科博士課程の解消（4.1） ・平成 30 年度入学式挙行，畜産学部（第 70 回），共同獣医学課程 41 名，畜産科学課程 213 名，（3 年次編入）10 名，畜産学部計 264 名，別科（第 59 回）17 名，大学院（第 52 回）67 名，計 348 名（4.10）	・共同獣医学課程の推薦入試Ⅰ・帰国生特別入試・私費外国人留学生特別入試・学士編入学試験の募集を停止 ・一般入試前期日程の個別学力検査について 5 題の中に少なくとも理科 2 題，英語 1 題を含んで解答することに変更 ・一般入試後期日程について，大学入試センター試験の傾斜配点を変更し，個別学力検査として，小論文及び面接を課すことに変更 ・原虫病研究センター五十嵐郁男教授が第 65 回桂田賞を受賞（3.18） ・帯広畜産大学生生活協同組合と災害時における協定を締結（3.26） ・萩谷功一准教授，日本畜産学会賞を受賞（3.30） ・産業動物総合画像診断システム（2 種類）の診断車）を導入（4.17） ・川端喬名誉教授，瑞宝中綬章を受章（4.29） ・北海道内国立大学法人の経営改革の推進に関する合意書を小樽商科大学及び北見工業大学と締結（5.29） ・鈴木省三元学長逝去（6.15） ・ウイスコンシン大学マディソン校と初の合同サマープログラムを実施（8.20-8.28） ・第 1 回伴侶動物慰霊式を挙行（9.19） ・三宅勝名誉教授逝去（10.6） ・平成 30 年度国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）に採択（10.19） ・馬介在活動室による「人と馬の絆による教育・研究・社会貢献活動」の取り組みが、障がい者の生涯学習支援活動に係る文部科学大臣表彰を受賞（12.4） ・ベルギー王国リエージュ大学との学術交流協定を締結（12.20）	・冬季五輪・平昌大会開幕（日本獲得メダルは金 4, 銀 5, 銅 4）（2.9） ・改正民法が成立。2022 年から成人年齢は 18 歳に（6.13） ・長崎と天草地方の「潜伏キリシタン関連遺産」がユネスコ世界遺産に登録決定（6.30） ・FIFA ワールドカップロシア大会、決勝トーナメント 1 回戦、日本はベルギーに逆転負け、8 強入りならず（7.3） ・北海道で震度 7 の地震。道内ほぼ全てで停電（9.6） ・テニス全米オープンで大坂なおみ選手が優勝。日本選手が四大大会のシングルスで制したのは男女を通じ史上初めて（9.8） ・東京都の築地市場、83 年の歴史に幕（10.6） ・MLB エンゼルス大谷翔平がアメリカンリーグ新人王。日本人ではイチロー以来 17 年ぶりの快挙（11.13） ・2025 年万国博覧会開催地は日本の大阪に決定（11.23） ・本庶佑京都大学特別教授がノーベル医学・生理学賞受賞（12.10）
○2019（平成31・令和元年） ・第 67 回学部学位記，第 58 回別科修了証書，第 51 回大学院学位記授与式挙行，共同獣医学課程 42 名，獣医学課程 2 名，畜産科学課程 196 名，畜産学部計 240 名，別科 13 名，大学院 45 名，計 298 名（3.20） ・地域連携推進センターを産学連携センターに改組（4.1） ・共用機器基盤センターを廃止し，産学連携センターに機能を集約（4.1） ・畜産フィールド科学センター機能強化のため部門を再編し，新たにリカレント教育推進部門を設置（4.1） ・平成 31 年度入学式挙行，畜産学部（第 71 回），共同獣医学課程 41 名，畜産科学課程 221 名，（3 年次編入）10 名，畜産学部計 272 名，別科（第 60 回）19 名，大学院（第 53 回）55 名，計 346 名（4.4）	・一般入試前期日程の定員を共同獣医学課程 30 人，畜産科学課程 130 人，一般入試後期日程の定員を共同獣医学課程 10 人，畜産科学課程 25 人に変更 ・推薦入試の定員について，A 推薦を 15 人に変更 ・タイ王国チュラロンコン大学と学術交流協定を締結（2.7） ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構と連携協定締結（4.16） ・福永和男名誉教授逝去（4.26） ・宮本啓二名誉教授，小柳敏郎名誉教授，瑞宝中綬章受章（5.21） ・浦河町及び NPO 法人ビスカリとの馬を介した教育・研究・社会貢献活動の充実に関する協定を締結（7.16） ・松村廣美名誉教授逝去，従四位瑞宝小綬章に叙せらる（12.8）	・仲邑菫さん、日本棋院史上最年少 10 歳で囲碁のプロ棋士に（1.5） ・人気アイドルグループ「嵐」、2020 年末での活動休止を発表（1.27） ・第 126 代天皇陛下が即位。「令和」がスタート（5.1） ・NBA ミプロバスケットのドラフト会議でウィザーズから八村塁選手が日本人初となる 1 巡目指名を受ける（6.21） ・ユネスコが「百舌鳥・古市古墳群」を世界文化遺産に登録決定（7.6） ・女子ゴルフ、渋野日向子選手が全英女子オープン初優勝。日本人のメジャー優勝は 42 年ぶり 2 度目（8.4） ・消費税率 8% → 10% に引き上げ。食品には軽減税率を適用（10.1） ・日本開催のラグビーワールドカップ 2019 で日本代表チームがベスト 8 に（10.20）

沿革史	学内・学外のあゆみ	国内・国外のあゆみ
・附属図書館改修工事竣工記念式典を挙 行 (7.18)	・北海道大学との共同獣医学課程がアジ アで初めて欧州獣医学教育機関協会 (EAEVE) の認証を取得 (12.11)	・吉野彰旭化成名誉フェローがノーベル 化学賞受賞 (12.10)
○2020 (令和2年) ・学生寄宿舎男子寮改修・竣工 (1～4 階個室化) (1.8) ・第68回学部学位記, 第59回別科修了 証書, 第52回大学院学位記授与式は新 型コロナウイルス感染症の発生状況に 鑑みて中止, 共同獣医学課程40名, 畜 産科学課程213名, 畜産学部計253名, 別科16名, 大学院51名, 計320名(3.19) ・奥田潔学長が再任 (令和4年3月31日 まで) (4.1) ・別科(草地畜産専修)を別科(酪農専修) に改組 (4.1) ・令和2年度入学式は新型コロナウイルス 感染症の発生状況に鑑みて中止, 畜 産学部(第72回), 共同獣医学課程40名, 畜産科学課程212名, (3年次編入)10名, 畜産学部計262名, 別科(第61回)10名, 大学院(第54回)57名, 計329名 (4.4) ・情報処理センターを農学情報基盤セン ターに改組 (10.1)	・試験区分について, 一般入試を一般選抜, 推薦入試を学校推薦型選抜, 特別入試 を特別選抜に変更 (1.10) ・一般選抜前期日程の個別学力検査につ いて, 5科目の総合問題とし, 英語必答, その他の4科目から2科目選択に変更 (1.10) ・別科(草地畜産専修)について, 教育内 容の変更に伴い, 別科・酪農専修に名 称変更し, 定員は, 一般選抜を5人, 学 校推薦型選抜を10人に変更 (2.25) ・株式会社帯広シティーケーブルと災害 時のインターネット通信回線提供に関 する協定を締結 (2.25) ・株式会社ロジネットジャパンとの連携 協定を締結 (3.3) ・小樽商科大学と帯広畜産大学と北見工 業大学との間における単位互換に関す る協定を締結 (3.6) ・坂村貞雄元学長逝去, 従三位に叙せらる (3.10) ・本学動物医療センターと有限会社社台 コーポレーション社台ホースクリニッ クの連携協定を締結 (5.11) ・新型コロナウイルス感染症拡大により オンライン授業を開始 (5.28) ・本学構内に酒蔵「碧雲蔵」(上川大雪酒 造株式会社) 完成 (9.25) ・帯広商工会議所との連携協定を締結 (10.29) ・東日本電信電話株式会社との連携協定 を締結 (10.29)	・国際地質科学連合で「チバニアン」(千 葉時代)を正式採択。地球誌の一時代 の名称に (1.17) ・イギリス, EU(欧州連合)を離脱。47 年間の関係に終止符 (1.31) ・新型コロナウイルスの感染拡大をうけ 東京五輪開催延期が決定 (3.24) ・新型コロナウイルスの感染拡大で初の 緊急事態宣言を発令 (4.7) ・厚生労働省, 新型コロナウイルス接触 確認アプリ「COCOA」の配信を開始 (6.19) ・日本製スーパーコンピュータ「富岳」 が計算速度など4部門で世界一に (6.22) ・統計史上初, 7月の台風発生数ゼロを 記録 (7.31) ・藤井聡太棋聖, 史上最年少で二冠獲得 (8.20) ・劇場版「鬼滅の刃」無限列車編公開3 日間で興行収入46億円の大ヒット (10.19) ・米大統領選, 民主党のジョー・バイデ ン候補が勝利宣言 (11.8)
○2021 (令和3年) ・産学連携センターに企業等集積プラッ トフォームを設置 (3.17) ・第69回学部学位記, 第60回別科修了 証書, 第53回大学院学位記授与式举行, 共同獣医学課程43名, 畜産科学課程 203名, 畜産学部計246名, 別科18名, 大学院42名, 計306名 (3.19) ・畜産フィールド科学センター研究棟(旧管 理棟)改修 (3.22) ・基幹・環境整備によりグリーンコリドー 造成等 (3.26) ・産学連携センターに企業等集積プラッ トフォームを設置 (3.17) ・寄附講座「資源循環環境学講座」開設 (4.1) ・令和3年度入学式举行, 畜産学部(第 73回), 共同獣医学課程40名, 畜産科 学課程210名, (3年次編入)10名, 畜 産学部計260名, 別科(第62回)9名, 大学院(第55回)76名, 計345名 (4.4) ・北海道国立大学機構本部庁舎及び本学 本部棟改修工事開始 (8.6) ・動物・食品検査診断センターの体制強化 のため研究分野・検査診断業務の見直 しにより4分野から5分野へ再編 (10.1)	・湯口太多史元事務局長, 瑞宝双光章を 受章 (4.29) ・豊田裕名誉教授逝去 (5.28) ・前多修二名誉教授逝去, 従四位瑞宝小 綬章に叙せらる (6.24) ・堀浩二名誉教授逝去 (8.14)	・ミャンマー国軍がクーデター, ウィン ミン大統領, アウンサンスーチー国家 顧問らが身柄を拘束 (2.1) ・医療従事者を対象に新型コロナワクチ ン先行接種開始 (2.17) ・東京五輪聖火リレー, 1年越しで 福 島県からスタート (3.25) ・男子ゴルフ松山英樹選手がマスターズ 優勝。日本人初のメジャー制覇 (4.11) ・エンゼルスの大谷翔平選手が米大リー グオールスターゲームにMLB 史上初 の二刀流出場 (7.13) ・東京五輪開幕 (日本獲得メダルは金27, 銀14, 銅17獲得) (7.23) ・ユネスコが「奄美大島, 徳之島, 沖縄 島北部及び西表島」を世界自然遺産に 登録決定 (7.26) ・ユネスコが「北海道・北東北の縄文遺 跡群」を世界文化遺産に登録決定 (7.27) ・東京パラ五輪開幕 (日本獲得メダルは 金13, 銀15, 銅23獲得) (8.24)

平成23年以前はこちらのQRコードからご覧ください。

<https://www.obihiro.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2021/10/enkakusiS16-H23.pdf>



学内施設の竣工年月日一覧

年月日	建 物 名	構 造	規 模	備 考
平 成				
23.10.11	同窓会館（逍遙舎）	木造平屋建	130㎡	帯広畜産大学同窓会からの寄附
24.11.30	農産加工実験棟改修（旧実験実習棟）	鉄骨造平屋建	(239㎡)	パン工房・ポテト工房
12.26	食品加工実習施設改修（旧肉畜処理施設）		(324㎡) 991㎡	
〃	農畜産資源循環研究棟改修 （旧乳牛代謝試験室）		(450㎡)	
〃	農機具庫（1）	鉄骨造平屋建	79㎡	
〃	農畜産プラント	鉄骨造平屋建	100㎡	
〃	豚飼養試験棟	鉄骨造平屋建	190㎡	
〃	代謝試験棟	鉄骨造平屋建	247㎡	
25. 1.30	環境整備			代謝試験棟道路（80m） 駐車場新設（7番：8台）
3.15	動物焼却炉改修	鉄骨造平屋建	(142㎡)	
3.29	実習用更衣室	鉄骨造平屋建	(59㎡)	
〃	羊飼養試験棟	鉄骨造平屋建	222㎡	
〃	実習用豚舎	鉄骨造平屋建	142㎡	
〃	環境整備（道路等）			D 番駐車場拡張（49 台） 実験圃場の歩道（121m）及び 羊飼養試験棟車道（80m）
10. 7	燕麦倉庫	鉄骨造平屋建	68㎡	
10.22	松尾記念温室棟	鉄骨造平屋建	438㎡	カルビー(株)元相談役 松尾雅彦氏からの寄附
12.24	基幹整備（さく井）			
〃	基幹整備（自家給水設備）			
26. 3.20	実験動物舎Ⅱ改修（旧動物飼育棟）	コンクリートブロック造平屋建	(147㎡)	
3.24	動物・食品検査診断センター改修 （旧産業動物研究棟）	鉄筋コンクリート造 2 階建	(985㎡)	
〃	病態診断棟	鉄筋コンクリート造平屋建	745㎡	
〃	解剖教育研究棟改修	鉄筋コンクリート造平屋建	(440㎡)	
〃	渡り廊下	鉄骨造 2 階建	209㎡	産業動物臨床施設群との接続
27. 3.20	産業動物臨床棟	鉄筋コンクリート造 2 階建	3,570㎡	
3.18	産業動物飼育棟	鉄骨造平屋建	610㎡	
9.30	隔離施設改修（旧小動物入院舎）	コンクリートブロック造平屋建	(93㎡)	
12.10	講堂改修	鉄筋コンクリート造 2 階建	(990㎡)	
28. 8.31	宿泊施設増築	木造 2 階建	183㎡	
10.17	基幹整備（電気設備）			中央機械室受変電設備
〃	基幹整備（機械設備）			蒸気、給水、ガス配管更新
11.30	総合研究棟Ⅰ号館天井耐震改修			多目的ホール他（348㎡）
29. 7.31	畜魂碑納骨堂			
12. 7	基幹整備（電気設備）			電力設備
30. 3.23	基幹整備（共同溝改修）			
〃	基幹整備（湧水排水設備）			
令 和				
元. 6. 7	図書館改修	鉄筋コンクリート造 2 階建	(2,168㎡)	
11.15	環境整備（敷地造成）	稲田宿舎跡地	11,131㎡	企業集積地整備
2. 1. 8	学生寄宿舎男子寮改修	鉄筋コンクリート造 5 階建	(1,056㎡)	男子寮 1～4 階個室化 全体面積（5,366㎡）
3.27	環境整備（構内道路）	稲田町西 2 線 15 番地	499m	
3.30	基幹整備（熱源設備改修）	中央機械室ボイラー	(853㎡)	天然ガス化
〃	基幹整備（電気設備改修）	中央機械室他	(853㎡)	非常用発電機
3. 3.22	畜産フィールド科学センター研究棟改修 （旧同管理棟）	鉄筋コンクリート造平屋建	(824㎡)	
3.26	動物焼却炉改修	鉄骨造平屋建	(142㎡)	
〃	基幹・環境整備	正門～総合研究棟Ⅰ号館一帯		道路 305m、駐車場新設 84 台
〃	環境整備	敷地境界		キャンパス東側（グリーンコリ ドー：植栽／遊歩道／芝） キャンパス北側 （樹木／フェンス）
〃	駐車場整備（D 番拡張）		60 台	現 A 駐車場

平成 23 年以前はこちらの QR コードからご覧ください。

<https://www.obihiro.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2021/10/syunkouS16-H23.pdf>



学生の課外活動団体活動状況【体育系サークル】

サークル名 / 年度	2016 (H28)	2017 (H29)
女子アイスホッケー部	第1回大学女子アイスホッケーサマーカップ 優勝 第4回日本学生女子アイスホッケー大会 第3位	第1回日本学生氷上競技選手権大会 女子 第2位
男子アイスホッケー部		
アメリカンフットボール部		ちくだいらんぷプロジェクト みんちく企画名「アメフトふれあい体験」
カーリング部	・第24回北海道ジュニアカーリング選手権大会「帯広畜産大学」(女子)3位 ・第28回ユニバーシアード日本代表選考会北海道ブロック「帯広畜産大学女子」日本代表決定戦進出 ・第28回ユニバーシアード冬季競技大会日本代表選考会「帯広畜産大学女子」3位 ちくだいらんぷプロジェクト みんちく企画名「わくわくカーリング体験」	・第36回北海道カーリング選手権大会「帯広畜産大学A」準優勝 ・第10回JAL杯北海道ミックスダブルスカーリング選手権大会「チーム藤崎」4位 ・第25回北海道ジュニアカーリング選手権大会「帯広畜産大学女子」準優勝 ちくだいらんぷプロジェクト みんちく企画名「それいけ！カーリング体験」
弓道部	全道学生弓道選手権大会 男子団体 第三位 女子団体A 準優勝 全道学生弓道争覇戦 男子の部 中村悠人 皆中賞 女子の部 川村香純 皆中賞	全道学生弓道選手権大会 中村悠人 第三位 全道学生弓道争覇戦 女子の部 川村香純 優勝 皆中賞
剣道部		第34回北海道女子学生剣道新人戦大会 女子団体 準優勝
硬式テニス部		北海道学生テニス選手権大会 男子個人 シングルス ベスト32
硬式野球部	春季リーグ2部 2位 秋季リーグ2部 2位	春季リーグ2部 2位 秋季リーグ2部 3位
サッカー部		
スキー部		
ソフトテニス部		
体操部		
卓球部		
馬術部	第52回北日本学生馬術大会 学生賞典障害飛越競技 第3位 岩本佳祐選手×柏桜号 学生賞典総合馬術競技 第1位 小嶺吉慶選手×柏楓号 第2位 中村幸雄選手×柏酔号 第3位 高垣春香選手×柏晴号 第4位 池内あやか選手×柏艶号 北日本学生賞典総合馬術競技 団体 第1位 第88回北日本学生選手権大会 第1位 中村幸雄選手 ちくだいらんぷプロジェクト みんちく企画名「畜大ホースでLet's乗馬体験2016」	第53回北日本学生馬術大会 学生賞典総合馬術競技 第1位 長島志帆選手×柏艶号 第4位 小嶺吉慶選手×柏輪号 学生賞典障害飛越競技 第2位 長島志帆選手×柏艶号 第60回全日本学生馬術大会総合馬術競技 学生賞典総合馬術競技 第16位 小嶺吉慶選手×柏輪号 ちくだいらんぷプロジェクト みんちく企画名「畜大ホースでLet's乗馬体験2017」
女子バスケットボール部		
男子バスケットボール部		
バドミントン部	春季リーグ 男子3部B4位・女子3部B3位 秋季リーグ 男子3部A3位・女子3部A4位 会長杯争奪選手権大会 女子ダブルスB 高田・山口ペア優勝	春季リーグ 男子3部B2位・女子3部B2位 秋季リーグ 男子3部7位・女子3部7位
女子バレーボール部		
男子バレーボール部		
女子ハンドボール部	春リーグ 3部 秋リーグ 3部	春リーグ 3部1位 秋リーグ 2部2位
男子ハンドボール部	春リーグ 3部 秋リーグ 3部	春リーグ 4部4位 秋リーグ 出場なし
ラグビー部		
陸上競技部		ちくだいらんぷプロジェクト みんちく企画名「みんなの走り方教室2017」
ダンスサークルSIVA		
フットサルサークル畜大	—	—

2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)
第6回日本学生女子アイスホッケー大会 第3位 第2回日本学生氷上競技選手権大会 女子 第2位	第3位日本学生氷上競技選手権大会 女子 第2位	
ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「アメフトふれあい体験」	ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「アメフトふれあい体験」	
・第26回北海道ジュニアカーリング選手権大会「帯広畜産大学B」4位 ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「さあ世界へ!カーリング体験」	・第27回北海道ジュニアカーリング選手権大会「帯広畜産大学」(女子) 4位 ・第12回JAL杯北海道ミックスダブルスカーリング選手権 1位 ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「世界へ羽ばたけ!カーリング体験」	
全道学生弓道争覇戦 女子の部 川村香純 準優勝 射道優秀賞		
北海道学生テニス選手権大会 男子個人 シングルス ベスト32 ダブルス ベスト16		
春季リーグ2部 2位 秋季リーグ2部 2位	春季リーグ2部 4位 北海道地区学生体育大会 3位 秋季リーグ2部 2位	
ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「本格「スラックライン」ワークショップ!」	ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「大人も子供も楽しめる!バク転教室」	
第54回北日本学生馬術大会 学生賞典総合馬術競技 第1位 田神優香選手×柏輪号 第2位 長島志帆×柏輪号 第4位 瀬之口小夏×柏玄号 第5位 菅原美央×柏連号 団体 第1位 第61回全日本学生馬術大会 学生賞典総合馬術競技 第11位 長島志帆選手×柏輪号 第17位 田神優香選手×柏輪号 団体 第4位 第54回全日本学生馬術女子選手権大会 第7位 田神優香選手 第90回北日本学生馬術選手権大会 第3位 太田夕陽選手 第54回北日本学生馬術女子選手権大会 第1位 田神優香選手 ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「畜大ホースでLet's乗馬体験2018」	第55回北日本学生馬術大会 学生賞典総合馬術競技 第1位 木本結衣選手×柏玄号 第2位 田神優香選手×柏奏号 第3位 空屋長良選手×柏連号 団体成績 第1位 第62回全日本学生賞典総合馬術競技大会 第14位 田神優香選手×柏輪号 第18位 空屋長良選手×柏連号 全日本学生M-D障害馬術競技 第1位 空屋長良選手×柏連号 第2位 瀬之口小夏選手×柏狼号 第7位 田神優香選手×柏奏号 第16位 栗本敦代選手×柏輪号 団体成績 第4位 第91回北日本学生馬術選手権大会 決勝 第2位 岡本優選手 北日本学生馬術女子選手権大会 決勝 第3位 田神優香選手 ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「畜大ホースでLet's乗馬体験2019」	第56回北日本馬術大会 学生賞典障害飛越競技 第1位 小野瀬北馬選手×柏奏号 第3位 岡本優選手×柏狼号 学生賞典総合馬術競技 第1位 田神優香選手×柏陽号 第2位 岡本優選手×柏狼号 第3位 瀬之口小夏選手×柏妙号 第4位 大山日和選手×柏連号 第5位 渡邊琴羽選手×柏玄号 学生賞典馬場馬術競技L1課目 第1位 田神優香選手×柏陽号 第63回全日本学生賞典総合馬術競技大会 第16位 岡本優選手×柏狼号 第19位 田神優香選手×柏陽号 全日本学生M-D 障害馬術競技 第3位 小野瀬北馬選手×柏奏号 学生賞典総合馬術競技 団体成績4位
	北海道地区大学体育大会 3位	
春季リーグ 男子3部B5位・女子3部B2位	春季リーグ 男子3部B4位・女子3部4位 秋季リーグ 男子4部1位・3部昇格・女子3部A3位 会長杯争奪選手権大会 男子シングルスB 河原崎ベスト4 大人も子供も楽しめる!バク転教室	新型コロナにより大会出場無し
春リーグ 2部1位 秋リーグ 1部6位	春リーグ 2部2位 秋リーグ 2部2位	男女合同へ
春リーグ 5部1位 秋リーグ 4・5部5位	春リーグ 4部4位 秋リーグ 4部2位	男女合同へ
ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「みんなの走り方教室」	ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「みんなのちくだい」	
—	—	新規設立

学生の課外活動団体活動状況【文化系サークル】

サークル名 / 年度	2016 (H28)	2017 (H29)
あぐりとかち		
うしぶ。		畜大ふれあいフェスティバル参加
カヌー部		
軽音楽サークル	ライブハウスRESTで外部ライブ	帯広、北見、釧路三大学合同ライブに出演
自然探査会		
吹奏楽部	北海道吹奏楽コンクール銀賞 第24回定期演奏会	吹奏楽祭 北海道吹奏楽コンクール銅賞 第25回定期演奏会
ゼニガタアザラシ研究グループ		GWセンサス、繁殖期センサス、換毛期センサス 秋センサス
総合美術部		
ダチョウサークル	ちくだいらんぷプロジェクト みんちく企画名「ダチョウの羽根でストラップをつくろう」	ちくだいらんぷプロジェクト みんちく企画名「ダチョウの卵に触れてみよう」
熱気球の会	ちくだいらんぷプロジェクト みんちく企画名「熱気球にふれてみよう!乗ってみよう!」	ちくだいらんぷプロジェクト みんちく企画名「熱気球にふれてみよう!乗ってみよう!」 大崎バルーンフェスティバル参加
漫画研究会		
マンドリンサークル	定期演奏会	定期演奏会
畑作サークル		
OZUFUL	ちくだいらんぷプロジェクト ずーぶる企画名「O(お)もしろくてB(び)っくりいっぱいの動物たちにZoo(ズー)ムイン!!」	ちくだいらんぷプロジェクト ずーぶる企画名「開園だよ!全員大集合!」
受験生協力隊		
酪農どうでしょう		
えぞほね団	畜大ふれあいフェスティバル参加	畜大ふれあいフェスティバル参加
RDAちくだい		
科学実験ボランティアSVA		
うまぶ	ちくだいらんぷプロジェクト ずーぶる企画名「クイズラリー/どうぶつの絵を描こう!」	
森づくりサークルもりとも!	エンリスの会と森づくり活動	帯広の森の森づくり活動
アカペラサークルram'a tone	新規設立	
チーズ部	新規設立	ちくだいらんぷプロジェクト みんちく企画名「チーズバターとサイエンス」
オークバイブルスタディクラブ	—	—
かしわの虹ハウス	—	—
ミツバチサークル	—	—
創作書道サークル「畜書会」	—	—
畜大肉牛サークル	—	—
ひつじ会@・Y・@	—	—

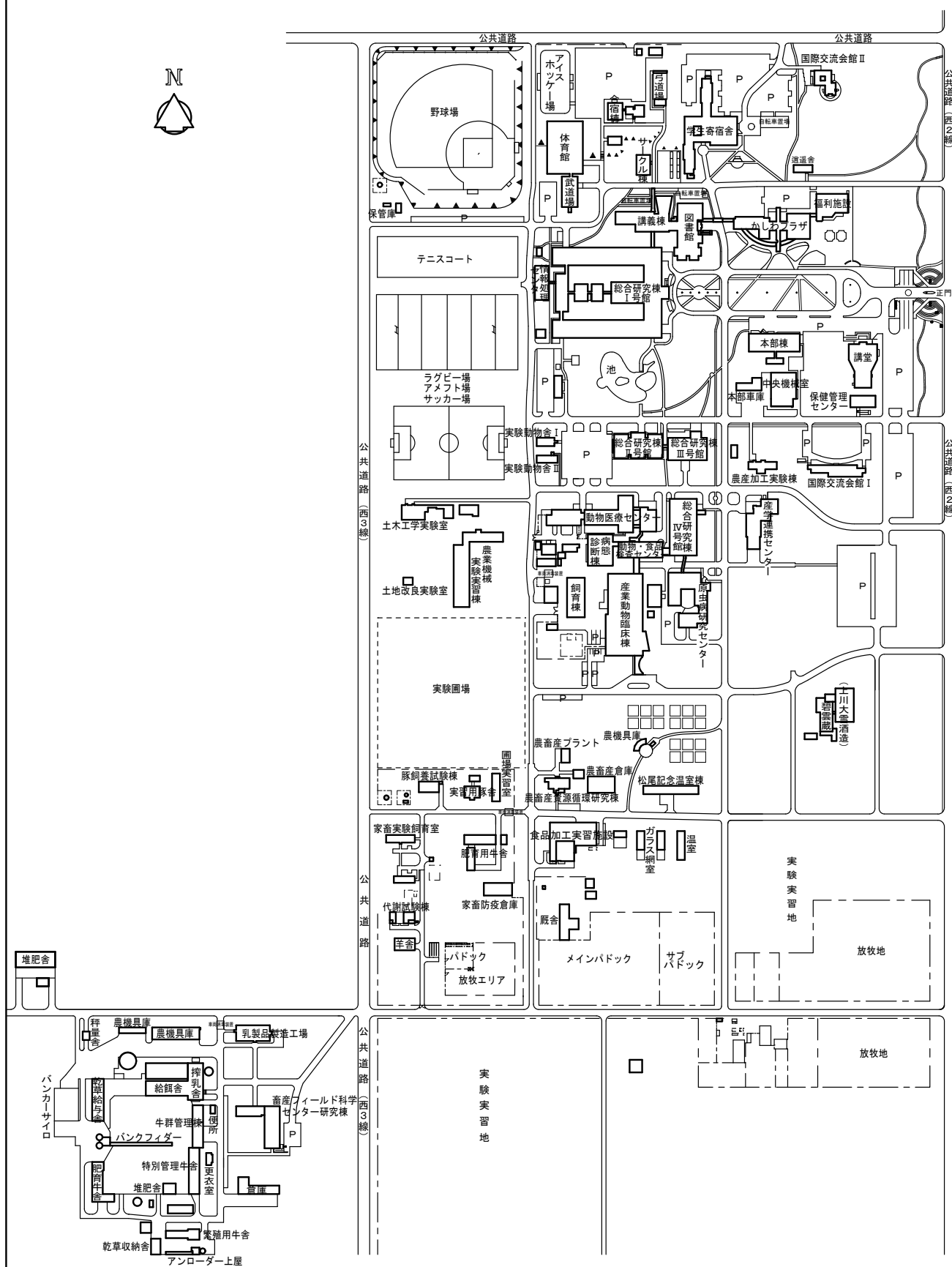
2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)
朝マルシェ(十勝ヒルズ)		
畜大ふれあいフェスティバル参加	畜大ふれあいフェスティバル参加	
	岡本あずみ 第74回国民体育大会北海道予選 カヌーワイルドウォーター1位 第74回国民体育大会カヌーワイルドウォーター 8位入賞 2019年 HoAエキストリーム・ホワイトウォーター・チャレンジin日高 3位	
帯広、北見、釧路三大学合同ライブに出演	帯広、北見、釧路三大学合同ライブに出演	ライブハウスRESTで外部ライブ
	スキー合宿(富良野)	
吹奏楽祭 北海道吹奏楽コンクール銀賞 第26回定期演奏会	吹奏楽祭 北海道吹奏楽コンクール 金賞 第27回定期演奏会 帯広地区管楽器個人コンクール クラリネット金賞 バンドフェスティバル2020 ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「ふれあい音楽体験」	
GWセンサス、繁殖期センサス、換毛期センサス 秋センサス、十勝管内小学校での出張授業	GWセンサス、繁殖期センサス、換毛期センサス 秋センサス、帯広動物園での出張授業、 標葉漁港での定置網見学北海道内野生動物調査サークルとの勉強会・研究発表会	十勝川河口でのゴマフアザラシ観察会 霧多布湿原センターでのゼニガタアザラシに関するブース展示 旭山動物園でのゼニガタアザラシに関するブース展示
ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「ダチョウの卵に触れてみよう」 畜大フェスティバル参加	ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「ダチョウの卵を「見て・触って・食べて」みよう」 畜大フェスティバル参加	
ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「熱気球にふれてみよう!乗ってみよう」 秋田スカイフェスタ参加 北海道バルーンフェスティバル参加	ちくだいらんぷプロジェクト みんなちく企画名「熱気球にふれてみよう!乗ってみよう」	
定期演奏会 畜大ふれあいフェスティバル参加	定期演奏会	
	どきどきファーム	
ちくだいらんぷプロジェクト ずーぶる企画名「クイズラリー」	ちくだいらんぷプロジェクト ずーぶる企画名「ずーぶる」	
	新規就農セミナー	
畜大ふれあいフェスティバル参加 札幌サイエンスフェスティバル参加 TBS、NHKの取材を受ける 新得小学校で出張授業	畜大ふれあいフェスティバル参加	
	乗馬会	北海道福祉のまちづくり賞受賞
畜大ふれあいフェスティバル参加	児童館イベント開催	
畜大ふれあいフェスティバル参加	畜大ふれあいフェスティバル参加 馬フォーラム2019参加 乗馬会	
帯広の森(はぐくむ)森づくり活動		
ボイスパーカッション講座		
新規設立 道東合宿・北海道KGK夏期合宿・北海道KGK聖書合宿・ 全国KGK合宿(NC)・北海道KGK春期合宿	道東合宿・北海道KGK夏期合宿・北海道KGK聖書合宿・ 全国KGK合宿(NET)・北海道KGK春期合宿	道東合宿・北海道KGK夏期合宿・北海道KGK聖書合宿・ 全国KGK合宿(NET)・北海道KGK春期合宿
—	新規設立	
—	新規設立 畜大ふれあいフェスティバル参加 ちくだいらんぷプロジェクト とかチャレ企画名「BEEHAVE～ミツバチでまちも農業も活性化～」	ファームデザインズ 帯広畜産大学店にて蜂蜜販売
—	—	新規設立
—	—	新規設立
—	—	新規設立

帯広畜産大学同窓会役員

2019 年 10 月 – 2021 年 9 月

役 職	氏 名	卒業年次
会 長	西 田 讓	草地 S51
副 会 長	日野浦 正 志	草地 S44
副 会 長	吉 次 茂 昭	工学 S53
副 会 長	三津原 勝	工学 S55
副 会 長	古 岡 秀 文	獣医 S57
副 会 長	辻 修	工学 S53
事 務 局 長	岸 本 正	工学 S55
名簿編集委員	今 田 忠 夫	別科 S48
名簿編集委員	萩 谷 功 一	家畜生産 H05
名簿編集委員	大 坪 秀 典	草地 S62
庶 務	鈴 木 裕 志	農化 S57
庶 務	藤 倉 雄 司	草地 H03
庶 務	島 田 謙一郎	家畜生産 H04
会 計	川 島 千 帆	畜産環境科学 H11
会 計	室 井 喜 景	獣医 6H15
会 計	窪 田 さと子	経営 H16
監 事	石 塚 紘 達	農化 S42
監 事	中 家 敏 博	生資 H13
顧 問	三 浦 弘 之	酪農 S30
顧 問	高 田 薫	総農 S31
顧 問	由 佐 寿 朗	農化 S41
顧 問	砂 川 敏 文	草地 S45

学内施設配置図（令和3年5月1日現在）



編 集 後 記

まずは本 80 周年記念誌の編纂に当たりまして、御多忙の中、原稿をお寄せ頂きました皆様、貴重な写真や資料をご提供いただきました皆様、本記念誌のためにドローン撮影で空からみた本学の写真を撮影していただいた佐藤禎稔先生に編纂委員一同、衷心より御礼申し上げます。

この記念誌を編纂するにあたって私どもが参考にさせていただいた 60 周年、70 周年記念誌の中身を拝見させて頂くと、10 年ごとの時の流れの早さに改めて驚かされます。特に元号が平成から令和に変わってからのこの数年の変化は、激動といっても大袈裟に聞こえないほどのものであったと思います。

外からの変化としては日本どころか、世界中で現在も続くコロナ禍の中、入学式や卒業式、オープンキャンパスなどの行事の中止、授業開始時期の遅れと全授業のオンライン化など、大きな変更を余儀なくされました。また、内からの変化としては来年度からスタートする、小樽商科大学、北見工業大学との法人統合に向けて、教育・研究・管理運営面での協力に向けたさまざまな話し合いが進み、本学敷地内に新しい機構本部の建設も進んでいます。

この 10 年間でそうであったように、新たな 10 年がどのようなものになるかは先行きの見えないうところがあります。しかし、これまでもそうであったように、たまに訪れるピンチをも、新たに訪れる変革のためのチャンスと見据え、帯広畜産大学は進んでまいります。

これからも帯広畜産大学は、生命、食料、環境をテーマに、「農学」「畜産科学」「獣医学」に関する教育・研究を推進し、知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、食を支え、暮らしを守る人材の育成を通じて地域および国際社会に貢献してまいります。この 80 周年記念誌が帯広畜産大学の学生、教職員皆様が積み重ねてきた歴史を読者皆様と共有することができたなら、編纂委員一同望外の喜びと感じます。

最後に、これまで本学を支えていただいている皆様方の益々の健勝とご発展を祈念し、これからも変わらず帯広畜産大学を見守り続けてくださることをお願いしつつ、文を閉じたいと思います。ありがとうございました、そしてこれからもよろしくおねがいいたします。

令和 3 年 12 月

帯広畜産大学創立 80 周年記念誌編纂委員会

柳 川 久
藤 波 豊彦
山 本 渉
大 平 依理子
岸 本 正
窪 田 さと子
中 島 司 典
山 口 将
松 井 真 紀
夏 井 恵 太

帯広畜産大学創立 80 周年記念誌

発行日 令和 3 年 12 月 24 日

編 集 帯広畜産大学創立 80 周年記念誌編纂委員会

発 行 国立大学法人 帯広畜産大学

〒 080-8555 帯広市稲田町西 2 線 11 番地

TEL 0155-49-5216